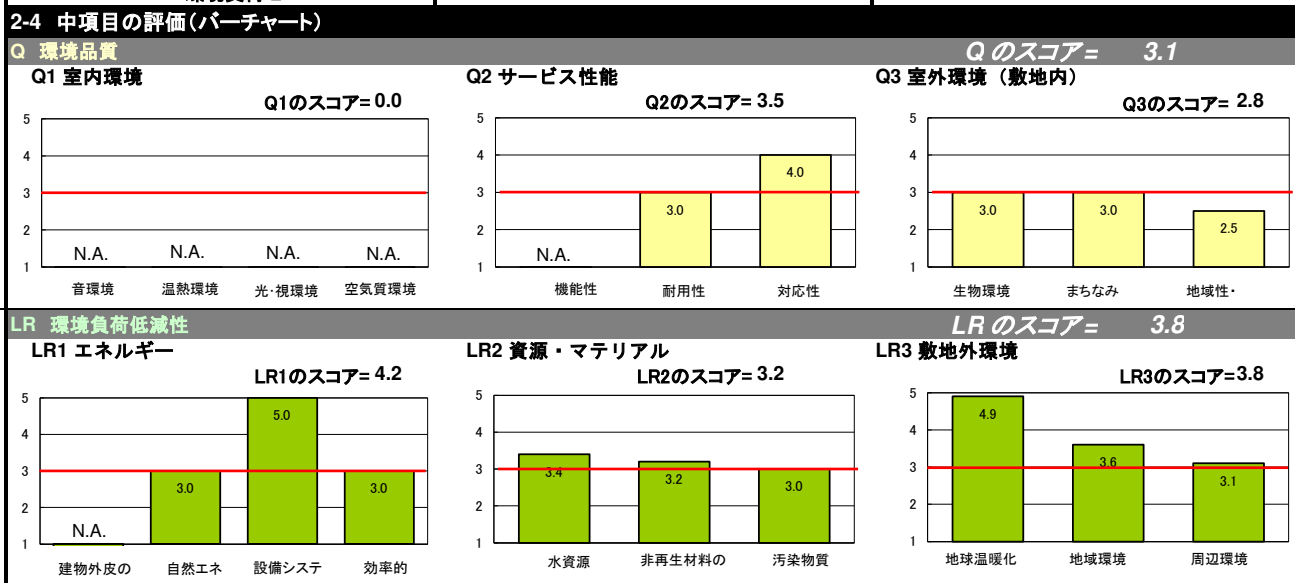
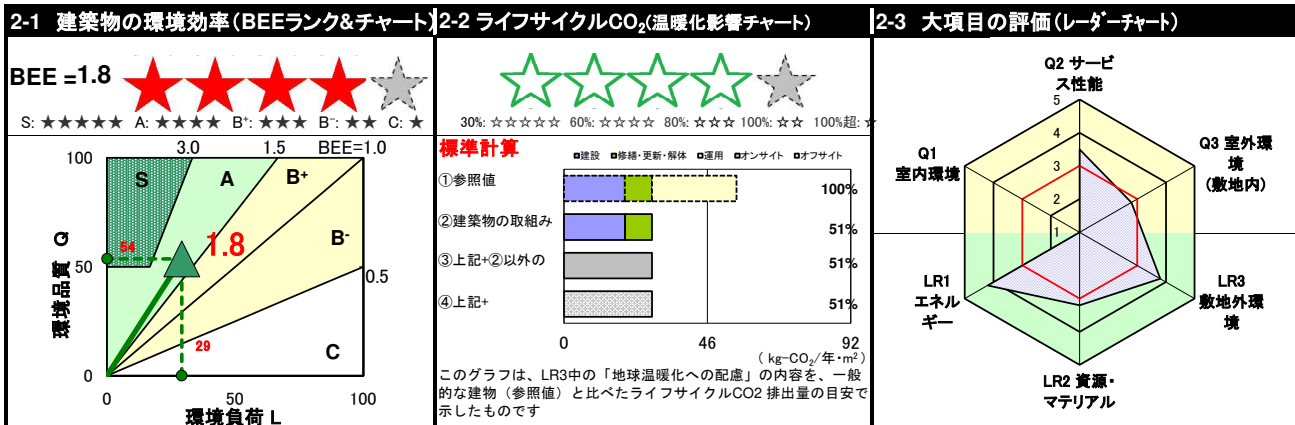


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ESR伊丹ディストリビューションセンター 新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県伊丹市高台4丁目8番1号	構造	S造
用途地域	市街化区域、準工業地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年8月8日
敷地面積	16,986 m ²	作成者	佐藤 毅
建築面積	8,091 m ²	確認日	2023年8月8日
延床面積	29,992 m ²	確認者	佐藤 毅



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周りの工場地帯とも調和のとれた外観である。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
対象外	居室面積・高さについては十分とり 内装仕上げ材、空調、給排水管の更新必要間隔にも配慮している。	既存の植物を活かし屋上緑化にも取り組み温熱環境の向上を目指している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEI値=0である。	節水機器の採用で水資源の保護に努めた。また再利用が可能なユニット部材の採用やリサイクル材の採用により資源保護に配慮した。 デッキスラブには、ニューフェローデッキ(鉄筋トラス付捨て型枠床版工法)を採用し、省資源へ配慮した。	燃焼機器を使用していない。 適切な量の駐輪場、駐車場を確保している。 導入路は交差点を避け東西3ヶ所に設け周辺道路への渋滞緩和に値する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される